

ひろしま住まいづくりコンクール 2023 空き家再生部門優秀賞

築 140 年 後世に受け継ぐ家 [福山市]

【建築主】 非公表
【設計・施工・ 田辺 靖子 企画立案者】
【さくら建設株式会社】 TEL : 084-943-1757



かなり劣化した外壁を板張りでアクセントをつけ 2 階は漆喰塗りとする。

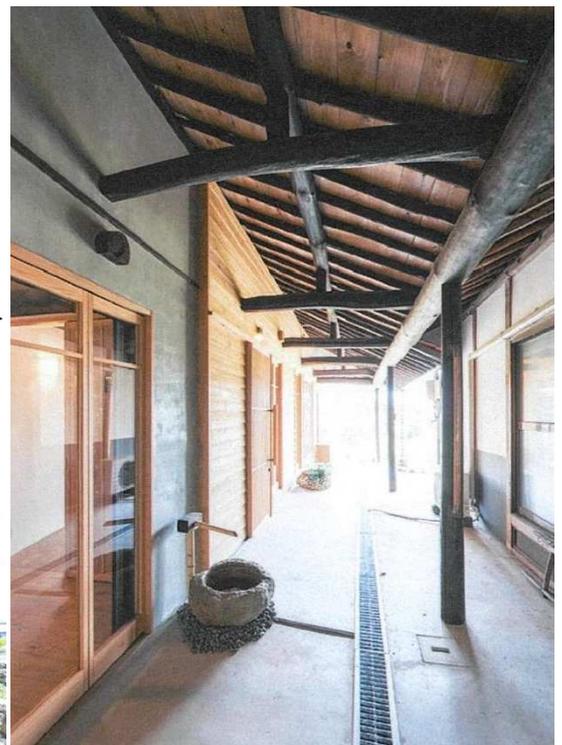


←工事前の建物の外壁。
築 140 年経過し、かなり傷んでいる。
屋根から内部への雨漏りもあった。



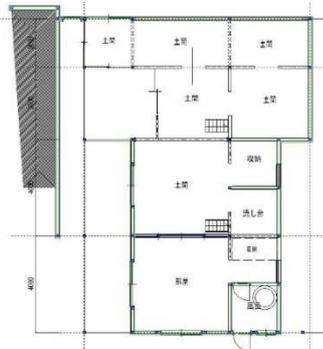
屋根の軒裏の梁表しを丁寧に塗装することで蘇った。 →

←屋根の軒裏の梁は劣化し、歪みも生じており補修が必要な状態だったが工事によって生まれ変わった。 ↓

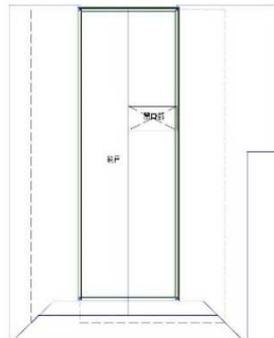


◆創意工夫点（田辺靖子さん）

母屋と離れの建物の動線を考慮して玄関や掃き出し窓の位置はお互いが行き来し易い間取り配置にした。建物の天井の水平梁が低いため全体地盤をコンクリートベースにして、その土間から壁を起こして天井高を確保した。また一部吹き抜けを設けて圧迫感のない空間に配慮した。吹き抜けにすると低い位置に水平梁が解体後に判明してこの3本の水平梁を一時的に撤去して新たに高い位置に補強梁を入れたことでダイナミックな空間となる。



1階



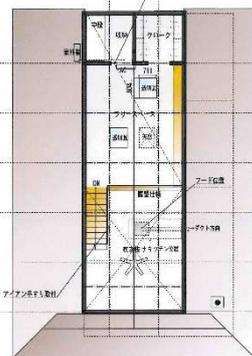
2階
工事前図面



玄関は和モダンなイメージで木製建具は製作。



1階



2階
工事後図面

工事前の玄関まわりの状態 ↓



写真奥、リフォーム前は五右衛門風呂があったところを暖炉スペースに。

リビングの様子。
コンパクトなオリジナルキッチン(写真左)はご家族が自然に集まるエリアになった。



2階からリビングを見下ろす。
吹き抜けがあるリビングは古民家のダイナミックな梁に存在感がある。

作品概要	
構造	木造2階建て
工事の竣工	令和3年8月
築年数	140年
世帯構成	1人世帯

◆建築主と設計・施工者の主なやり取り

[建築主さん]：屋根からの雨漏りがあるので修理したいのですが、この機会に後世に残せるものにしたいです。

田辺さん　：屋根の状態がかなり悪いので、屋根瓦を新設しましょう。次の世代が住める住宅にリノベーションしましょう。

[建築主さん]：床には無垢材を使ってほしいのですが。

田辺さん　：地盤に直にコンクリート打ちをしているのでボンドで施工できるような床材が良いのですが、無垢材となると商品がないのでゴムつきのオーク突板材で施工します。

[建築主さん]：既存の建具を使ってほしいです。

田辺さん　：劣化しているのですべてを使うことはお勧めしません。既存の木製建具の状態の良い建具だけ残し、農機具と和スペースの間仕切りに使用。また木格子も間仕切りに再利用しましょう。

[建築主さん]：寒い部屋をなんとかできないでしょうか。

田辺さん　：解体すると大きな梁に霽囲気のある天井が出てきましたが、断熱を考慮し断熱材を入れて覆いましょう。小屋組の天井を活かすことよりも快適性を求めることを優先します。

[建築主さん]：母のために床の段差は無くしてほしい。

田辺さん　：トイレ、キッチン設備の配管がコンクリート面に露出した状態なので、配管経路をよく検討する必要があります。壁の幅を厚くして、配管経路を確保して床には段差がないように計画します。

選評 審査委員 佐々岡 由訓

もともとは農機具小屋として母屋に隣接して建築された建物で、過去に住まいとして改修されていたが、近年は空き家となっていたものを、全面リノベーションしている。子供達が孫を連れて帰りたくなる場所に、という施主の要望通り、家族が集うスペースとして、魅力的に再生されている。建具や瓦、水鉢など、古い建物の素材を活用するために様々なアイデアが盛り込まれており、納屋のリノベーション事例として評価できる。